

# F/T09

フェスティバル/トーキョー

PRESS RELEASE

## 『あの人の世界』

### サンプル

作・演出：松井 周

11月6日(金)～15日(日)

於：東京芸術劇場 小ホール1



『カロリーの消費』 © 青木司

強烈な同時代性で小劇場界をリードする、  
劇団・サンプル主宰・松井周。  
満を持しての新作書き下ろし公演！

お問合せ：フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局 <http://festival-tokyo.jp/>  
〒170-0001 東京都豊島区西巣鴨 4-9-1 NPO 法人アートネットワーク・ジャパン内 TEL 03-5961-5202/FAX 03-5961-5207  
制作担当：武田知也 t-takeda@anj.or.jp、板橋園恵 s-itabashi@anj.or.jp

## / 作品について

### それでも「物語」を信じて。気鋭の劇作家が切り取る現代の肖像

春と秋を対とするプログラムと位置づけているフェスティバル/トーキョーは、小劇場を牽引する若手の中から松井周に注目し、F/T09 春に続いて 09 秋でも連続して作品を製作する。09 春において、松井はドイツの劇作家、マリウス・フォン・マイエンブルグ作『火の顔』を演出し、戯曲に忠実ながらもそこに現代日本の皮膚感覚・身体性を現出させた。09 秋では、彼が主宰する劇団・サンプルとの共同製作で、満を持しての新作書き下ろし公演を行う。

松井の作品は現実と虚構の境界を行き来しながら、様々な価値が相対化された世界に生きる人間の生態を描き、演劇におけるリアリズムを根本から問い直し続ける。今作で挑むテーマは、「磁場(=物語)の発生」。「人」と「物語」の関係にこだわり続ける新世代劇作家・演出家が見る現代の“リアル”とは？ 08 年『家族の肖像』が岸田國士戯曲賞最終候補にノミネートされ、今最も注目される松井周と個性的な俳優陣が織り成す、サンプル最新作は必見だ。

## / あらすじ

その場所を二人の者が占めるわけにはいかない。  
だから男は家を出た。

耳に息を吹き込まれた。  
その心地よさを味わいたくて、女は都会にやってきた。

ゆりかごから墓場まで。墓場からゆりかごまで。  
私たちは常にサインを受けとりながら進む。  
ネズミの死骸、朝の光、エアコンの音、誰かのまばたき、ゴムの感触、  
おばあちゃんの思い出等々…  
正しいか正しくないかは問題じゃない。  
鮮度が頼り。

つまりは出会いの話です。

## ／ 演出ノート

松井 周

「磁場」について考えています。

人間同士の間にも、人間と物の間にも、空間と物の間にも、人間の記憶と物の間にも、それぞれが引き合う力と反発する力のようなものがあって、

それらの力がひしめき合う「磁場」があるのではないか？という仮定です。

これは私の思いこみかもしれません。

しかし、この思い込みこそが私にとって「物語」であり、俳優や観客と共有したい部分なのです。

人間を基点にすることなく、「磁場(=物語)」発生装置を作ることができるか？

これが演出の意図です。

水を飲むのではなく、水が人を飲ませる。

イスに座るのではなく、イスが人を座らせる。

足が私(誰?)を裏切ってその場にとどまらせる。

過去が現在を導くのではなく、現在が過去を塗り替える。

台詞が心理を捏造する。

「磁場(=物語)」を見出すために何ができるでしょうか？

シンプルに緻密に大胆に作ります。

## / アーティスト・プロフィール

### 松井 周 Shu Matsui 劇作家・演出家・俳優



©青木司

1972 年東京生まれ。96 年、俳優として劇団青年団に入団。俳優活動を続けながら戯曲を執筆し、日本劇作家協会新人戯曲賞の最終候補作に二度選ばれる。現在は青年団での俳優活動に加えて、自作を演出する劇団サンプルを立ち上げ、劇作・演出活動にも意欲的に取り組んでいる。08 年『家族の肖像』は岸田國士戯曲賞最終候補に選ばれた。「フェスティバル/トーキョー09 春」では、マリウス・フォン・マイエンブルグ作『火の顔』を演出。海外戯曲を現代日本の皮膚感覚と接続させたその手腕が高く評価された。10 年 2、3 月には北九州芸術劇場プロデュースによる新作公演を控える。09 年よりセゾン文化財団より助成(ジュニアフェロー)を受ける。

#### 自作の戯曲(すべて作家本人の手で演出)

- ・『通過』(04 年 5 月@こまばアゴラ劇場、09 年 5 月@三鷹市芸術文化センター星のホール): 第 9 回(03 年度)日本劇作家協会新人戯曲賞の最終候補作。
- ・『ワールドプレミア』(05 年 5 月@こまばアゴラ劇場): 第 11 回(05 年度)日本劇作家協会新人戯曲賞の最終候補作。
- ・『地下室』(06 年 5 月@アトリエ春風舎)
- ・『シフト』(07 年 1 月@アトリエ春風舎)  
自作を演出する集団、サンプルが青年団から独立。
- ・『カロリーの消費』(07 年 9 月@三鷹市芸術文化センター星のホール)
- ・『家族の肖像』(08 年 8 月@アトリエ・ヘリコプター)
- ・『伝記』(09 年 1 月@こまばアゴラ劇場)

#### 自作以外の戯曲の演出

- ・サラ・ケイン作『パイドラの愛』(08 年 2 月)  
(文学座+青年団自主企画交流シリーズ@サイスタジオコモネ A)
- ・マリウス・フォン・マイエンブルグ作『火の顔』(2009 年 3 月)  
(フェスティバル/トーキョー09 春@東京芸術劇場小ホール1)

## / カンパニー・プロフィール

### サンプル Sample

劇作家・演出家・俳優の松井周が作・演出する劇団。

2004年に処女作『通過』が未上演にして第9回日本劇作家協会新人戯曲賞入賞。続く2作目『ワールドプレミア』で第11回日本劇作家協会新人戯曲賞入賞。『地下室』『シフト』と話題作を続けて発表し、青年団リンクを経て、5作目『カロリーの消費』で劇団名を「サンプル」とし、辻美奈子、古舘寛治、古屋隆太の3俳優とともに劇団として始動した。

その作品世界は、価値を反転させることと空間、身体、時間の可能性を探り続けることを特徴としている。疑似家族、徘徊、暴力、ユートピアなどをキーワードに、現代人の自己喪失のありさまを鋭く切り取る。代表作『カロリーの消費』には痴呆の始まった母親の介護を病院に委託している息子を中心に、権威を放棄しアブノーマルな性愛に没頭する医者、疑似親子関係に固執するフィリピン人介護士、自分探しのために町をさまよう若い女性などが登場。書割のような薄っぺらい世界の中をあたかも無目的に歩き続ける彼らの姿を通じ、人間の営みは「カロリーの消費」でしかないにもかかわらず、だからこそ価値があるという強烈な逆説を示した。

また、08年に岸田國士戯曲賞最終候補にノミネートされた『家族の肖像』は、<「転向」することを常態と認識しながらも、どこかで誰かと「転向」できない何かを共有したいと願っている者たちの、細い糸のつながりを表現する>という企画意図の通り、廃棄処分のコンビニ弁当がさまよう先の家々の、あまりにも孤立化し、乾いた現代的状況を表現した。

こうしたサンプルの表現は、演出・美術・照明・衣装の力が結集して作り上げる強烈なビジュアルに加え、ドラマトゥルクと共に強化される作品の構成力によるところが大きい。戯曲を解体し、効果的な表現手法を探し、細部にわたって突き詰める共同作業は、圧倒的な世界観の完成を支えている。

09年からは松井周がセゾン文化財団から助成を受け、益々の期待と注目を集めている。

## / キャスト/スタッフ

作・演出	松井 周
出演	辻美奈子(サンプル・青年団) 古舘寛治(サンプル・青年団) 古屋隆太(サンプル・青年団) 山崎ルキノ(チェルフィッチュ) 渡辺香奈(青年団) 奥田洋平(青年団) 石橋志保(中野成樹＋フランケンズ) 深谷由梨香(柿喰う客) 芝 博文 田中佑弥 善積 元 羽場睦子
美術	杉山至＋鴉屋
照明	松本大介(enjin-light)
衣装	小松陽佳留(une chrysantheme)
ドラマトウルク	野村政之
舞台監督	寅川英司＋鴉屋、山下 翼
宣伝美術(サンプル)	京
宣伝写真	momoko japan
WEB(サンプル)	牧内 彰
制作	三好佐智子、藤田晶久、三橋由佳
協力	青年団、(有)レトル、チェルフィッチュ、中野成樹＋フランケンズ、 柿喰う客
製作	サンプル、(有) <sup>キナダ</sup> quinada
共同製作	フェスティバル/トーキョー
助成	財団法人セゾン文化財団
共催	東京芸術劇場(財団法人東京都歴史文化財団)
主催	フェスティバル/トーキョー

## / 公演情報

会場 東京芸術劇場小ホール 1  
(東京都豊島区西池袋 1-8-1 TEL03-5391-2111)

### 公演スケジュール

11/6(金)	11/7(土)	11/8(日)	11/9(月)	11/10(火)	11/11(水)	11/12(木)	11/13(金)
19:30★	19:30	15:00 19:30★	休演	19:30	19:30	14:00★ 19:30	19:30
11/14(土)	11/15(日)						
14:00◎ 19:30◎	14:00◎						

★終演後ポスト・パフォーマンストークあり

◎英語字幕付き上演

上演時間 100分(休憩なし・予定)

## / チケット情報

料金 自由席(整理番号付き)  
一般 3,500円  
学生 3,000円/高校生以下 1,000円 (要学生証提示)

前売開始 2009年9月5日(土)

お取扱い ○F/Tチケットセンター 03-5961-5209(12:00-19:00)  
※前売開始日9/5(土)のみ10:00より受付  
○F/Tオンラインチケット(要事前登録・無料)  
<http://festival-tokyo.jp/>(パソコン)  
<http://festival-tokyo.jp/m/>(携帯)  
※モバイルサイトは9月より開設予定  
○F/Tステーション(東京芸術劇場前)  
※10月後半より取扱い予定  
○電子チケットぴあ 0570-02-9999  
(Pコード予約:397-079) <http://pia.jp/t/>  
○イープラス <http://eplus.jp/ft09/> (パソコン・携帯)

\* 回数券、セット券、ペア券など、F/T チケット情報詳細につきましては、F/T 全体チラシまたは F/T 全体リリース、HPをご参照ください。

## / 写真/クレジット一覧

サンプル『カロリーの消費』(07年)



©青木司 Tsukasa Aoki

サンプル『家族の肖像』(08年)



©青木司 Tsukasa Aoki

F/T09 春『火の顔』 演出: 松井周(09年)



©青木司 Tsukasa Aoki

ポートレート: 松井 周



©青木司 Tsukasa Aoki



©青木司 Tsukasa Aoki

- ・ ご利用になる場合は、写真家のクレジットを必ず併記してください。
- ・ 原則、トリミングおよび加工は不可。